

稲武の『寒さ』を生かした新しい冬の名所・氷瀑。
その大きさは圧巻です。
ぜひご覧下さい！

2・3月のイベント見どころ

雪み街道

2/2(土) 18:00~21:00
稲武商店街周辺
キャンドルアートコンテスト
幻想的な冬の光をお楽しみ下さい。

氷瀑と樹氷

ライトアップ 18:00~20:00
大井平公園・西の六郎木橋を渡って左折50m

米粉王国

2/23(土) 新商品発表会
道の馬イベント広場にて
ピザ、マフィンなど米粉を使った
新商品を6店舗が発表！

いなぶに福よせ雛がやってきた！

2/9(土)~4/14(日)

日常生活を送る
あひなさまたちを見に来て下さいね！
とんぐり工房にいます。

とんぐり工房が
TEL 83-3838
メイン会場です
スタンプも開催！
いなぶ
稲光協会
TEL (0565)
83-3200

とんぐりの湯のバレンタインデー

2/13(水)
ご利用のお客様 先着150名様
ココアパンをプレゼントします



平成24年度のとんぐり新聞はグリッヒ
郷土史家・安藤泰氏に入門！
稲武の歴史や旧跡を紹介します。



伊勢神トンネルの変遷

「中馬街道と伊勢神峠の歴史」

伊勢神トンネル
中馬街道
伊勢神峠の歴史
峠の頂上はかなり掘り下げられています。江戸時代には中馬の物流のため、遠回りの街道をさけて峠を掘り下げ、開通したと思われます。

飯田街道の中でも伊勢神峠は一番の難所でした。中馬の頂上、4豆頂立てで峠を越えるのは馬子にとっても馬にとっても大変でした。馬子たちは麓にあった4軒の馬宿で一晩泊まって、馬も人も休んで翌日わらじのひもをしめて峠越えをしました。

峠の名前 江戸時代までは「石亀峠」と呼んでいました。慶応元年、伊勢神宮へ遠くて行けない人のために古橋暉児の提唱により峠の頂上に伊勢神宮遷拝所ができてから「伊勢拝み峠」となり、いつの頃か「伊勢神峠」と呼ぶようになりました。

旧伊勢神トンネルの開通

馬の背から馬車輸送にかわり、トンネル工事が計画され、明治31年に開通しました。延長308メートル、高さ3.3メートル。トンネルの名前は「伊世賀美トンネル」でした。軍隊の大砲が通過できる大きさを基準に作られました。明治の石造りのトンネルは全国でも珍しく、今は伊豆の天城トンネルと2ヶ所しかないと言われています。

今の伊勢神トンネル

車社会になり旧トンネルは機能を失い、昭和35年に新トンネルが開通しました。延長1,245メートル。当時は有料道路でしたが昭和46年に無料化されました。

新しい伊勢神トンネル

今のトンネルは大型車のすれ違いが困難です。2012年10月より「新伊勢神トンネル」改修事業がスタート。10年後の完成を目指して現地調査が始まりました。